

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
基礎	論理的思考	1	30	1 年次 ・ 1 学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	医療を取り巻く環境の変化や個々の患者に合った看護支援を展開する際には、科学的根拠に基づいた看護ケア：EBN（Evidence-Based Nursing）を提供していくことが重要である。またその際には論理的に考えることが要請される。さらに、その考えを理路整然と表現すれば医療チーム内でしっかりと見解を共有することが出来る。そこで本講義では論理的に思考し、表現するための基礎的知識と方法を学ぶ。			
授業目標	1. 代表的な思考方法・研究方法を概観する。 2. 論理的に考える方法を学ぶ。 3. 文章で的確に表現する力を身につける。			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1 回	・ 導入、演繹が持つ長所と短所 ・ 非演繹的推論①：非演繹的推論と T・リードが言った常識 ・ 非演繹的推論②：帰納・仮説形成（アブダクション）・類推 ・ 非演繹的推論③：相手が抱く気持ちについての推測と発達障害 ・ 推論同士を組み合わせるときの工夫：仮説演繹法と探究 ・ ソクラテス式問答法・弁証法・哲学カフェ ・ アリストテレスが唱えた四原因論 ・ 目的論的説明と進化論的説明 ・ オッカムの剃刀（カミソリ） ・ F・ベーコンが注意を呼びかけた 4 種のイドラと T・クーンが言ったパラダイム ・ デカルトが唱えた 4 つの規則 ・ ニュートンが唱えた 4 つの規則 ・ J・S・ミルが唱えた実験的探究の方法、反証主義が唱えた仮説選択基準 ・ クーンが唱えた理論評価基準、まとめ ・ 認定試験			
第 2 回				
第 3 回				
第 4 回				
第 5 回				
第 6 回				
第 7 回				
第 8 回				
第 9 回				
第 10 回				
第 11 回				
第 12 回				
第 13 回				
第 14 回				
第 15 回				
自己学習 関連科目	日頃より文章の読み書きを実施する。 関連科目：倫理学、情報科学			
テキスト	配布資料			
参考図書	宇佐美寛「論理的思考－論説文の読み書きにおいて」新版（メヂカルフレンド社）			
評価方法	筆記試験：100%			
備考	レポート課題あり（レポート課題は参考図書から出題）			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画（Syllabus）

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
基礎	心理学	1	30	1 年次 ・ 1 学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	看護に従事するとき、その対象である人間がどのようなものを理解することが基礎となる。そこで、本科目では人間の心理とよばれる現象や活動について、その基礎を学習することを目標とする。授業では体験を重視し、できる限り実体験を伴うよう学習する。 また、授業を通して、科学とよばれる世界の基本的な考え方や姿勢、また人間研究の基礎となる知識やスキルを身につけるべくあわせて学習する。			
授業目標	1. 人間理解の基礎として、人間の心理及び行動を理解する。 2. 心理学の基本的な事項を理解し、日常生活において望ましいあり方を考える。 3. アカデミックな世界観、人間に対する視点を養う。			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1 回	1. オリエンテーション：心理学とは 研究領域と研究の方法			
第 2 回	2. 脳の探検 脳の生理・大脳機能と薬理			
第 3 回	3. 目で見える、心で視る 感覚知覚心理			
第 4 回	4. 身につける「力」 古典的学習と動機付け			
第 5 回	5. 記憶と学習			
第 6 回	6. 発達 1 発達とはなにか？			
第 7 回	7. 発達 2 幼児・児童・知能			
第 8 回	8. 発達 3 青年期 ―自分たちの心―			
第 9 回	9. 発達 4 生涯発達と老年期			
第 10 回	10. 自分を見せる・魅せる 社会的認知			
第 11 回	11. 「恋ごころ」の科学 対人社会心理			
第 12 回	12. みんなの中の私 集団心理学			
第 13 回	13. 悩みを科学する ストレスと健康			
第 14 回	14. 君ってどんな人？ 性格・人格テスト			
第 15 回	15. 認定試験			
自己学習 関連科目	授業中に随時課題を提示する。また、授業の復習は十分に行うよう求める。 関連科目：人間関係論Ⅰ、看護学概論Ⅰ			
テキスト	配布資料			
参考図書	授業の中で随時提示			
評価方法	筆記試験及びレポート課題等			
備考	評価の補足： 授業中で評価を受けるべき活動などがあれば、それも成績に加味される。 さらに、授業の中での小テスト・レポートなどを課す場合がある。 積極的な授業への参加は成績に加味する。			

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
基礎分野	倫理学	1	15	1 学年・1 学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	将来、看護専門職として看護の仕事に就くにあたって、基本的な倫理観を身につける。そのために倫理の基本的な考え方を学ぶ。授業ではディスカッション形式を取り入れて、対話や話し合いの仕方を学ぶ。他にも、レポートの書き方を学ぶ。			
授業目標	なぜ人間には倫理や道徳が必要か？ アメリカの詩人・批評家、ウェンデル・ベリーの『ライフ・イズ・ミラクル』を基に、「ライフ」（生命・生活・人生）の観点から、倫理について考える。他にも、心とは何か？「健康」とは何か？について理解を深める。			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1 回	序論 倫理・道徳とは何か？ ベリーの『ライフ・イズ・ミラクル』から ① 「ライフ」（life）や、「健康」（health）という言葉の意味 ② 「生き物」という言葉（英語で）の意味 ③ 「ライフ・イズ・ミラクル」の意味とは？			
第 2 回	幸福について——1 回目のディスカッション 「ホセ・ムヒカ」のビデオを観て、「幸福」について考える。 ① 幸福と消費主義 ② 成功と幸福 のちがいは？ ③ 人とのつながりと幸福			
第 3 回	生き物と機械のちがいは——『ライフ・イズ・ミラクル』から ① 「心」について考える——身体と心の関係（デカルトの考え方） ② ベリーの「心」の考え方 ④ 機械の特徴と「機械」のモデル——機械には自由はあるか？			
第 4 回	「ごちゃまぜ福祉」のビデオを観る——2 回目のディスカッション テーマ：地域でのつながりと多様性、連携と協力			
第 5 回	競争と協力——マルタ・ハリソン：「競争を越えて」を読む できれば、ここでレポートの書き方を説明する。			
第 6 回	「日本画家、堀文子さん」のビデオを観る——3 回目のディスカッション ① 戦争とその時代 ② 芸術の役割について考える。			
第 7 回	ベリーの芸術と宗教観——「説明のための知識」としての科学（ベリー） （後半）宇沢弘文「社会的共通資本」の考え方——医療・教育・環境の分野			
第 8 回	授業全体の振り返り			
自己学習	ノートは取るのが望ましい。ベリーのテキスト（プリント）は難しいが、何度も読んで自分なりに理解すること。レポートの書き方を学ぶこと。			
テキスト	ウェンデル・ベリー：『ライフ・イズ・ミラクル』、法政大学出版局			
参考図書	講義中に紹介します。			
評価方法	レポートによる。レポートの課題は授業中に述べます。			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画（Syllabus）

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
基礎	情報科学	1	30	1 年次 ・ 1 学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	いま、多種多様な情報が私たちの生活を取り巻いている。そのような情報をいかに捉え、受け止め、活用していくか、情報化社会がもたらした豊かさや平等、誤解や倫理問題を考える機会とする。そして、看護職を目指すものとして、情報の取り扱い、情報の判断、処理をいかに行うかということを学習する。また、看護の質を高める目的とする看護研究では、情報処理が研究の価値を左右させる。そこで、目的に合った正しい情報処理ができる基盤となる情報科学の基礎的知識、統計の基礎的知識を学ぶ。			
授業目標	1. 情報科学の基礎が理解できる。 2. 情報化社会の中での情報の活用方法や危険性を理解できる。 3. 統計処理の意義・目的が理解できる 4. 統計処理の実際を理解できる			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1 回	1. パソコンの基礎、情報の扱い方（インターネットリテラシー、情報セキュリティ）			
第 2 回	2. Word の基礎			
第 3 回	3. Excel の基礎、数式と関数			
第 4 回	4. Excel での代表値の計算			
第 5 回	5. Excel での応用的な関数の使い方			
第 6 回	6. 統計学とは、データの種類			
第 7 回	7. 度数分布とグラフ（ヒストグラム）、平均値と標準偏差			
第 8 回	8. データのグラフ化（棒グラフ、円グラフ、折れ線グラフ）			
第 9 回	9. 散布図と相関分析、回帰直線、近似曲線			
第 10 回	10. クロス集計表			
第 11 回	11. 確率分布と数表（正規分布、カイ 2 乗分布）			
第 12 回	12. 仮説の検定（母平均、母比率）			
第 13 回	13. Word・Excel の書式設定、ページ番号、図表の挿入 メールへの添付方法			
第 14 回	14. 1 学期の復習、練習問題			
第 15 回	15. 認定試験			
自己学習 関連科目	コンピューターに積極的に触れる。 関連科目：論理的思考、倫理学			
テキスト	よくわかる統計学 第 3 版 看護医療データ編 東京図書			
評価方法	筆記試験：50%、レポート課題等：50%			
備考	第 1～14 回は、学生用パソコンを使用する。 各自割り当てられた、学生用パソコンを授業開始までに立ち上げておく。			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
基礎分野	社会学	1	30	1 年次 ・ 1 学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	社会は、人と人とのさまざまな関係や結合からなるものであり、人は社会と関わることなしに生きていくことはできない。この授業では社会学の基本的な理論と概念、そして社会学の基本的な考え方を理解し、多様化・複雑化する現代社会の捉え方、および社会と人間との関わりについて学ぶ。具体的には、社会問題や社会現象、人々の生活を取り上げ、社会学の視点から解説する。自らも社会の一員であることを認識し、よりよく社会をつくり関わっていくための基盤とする。			
授業目標	1. 社会存在としての人間を理解し、自らも社会の一員であることを自覚する。 2. 個人-集団-社会の関係を理解する。 3. 社会現象や社会問題について具体的に考えることができる。			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1 回	1. 社会学とはどのような学問なのか①：社会学が対象としている「社会」とは何か、社会と人間との関わりについて考える。			
第 2 回	2. 社会学とはどのような学問なのか②：他の社会科学との違いから社会学を捉える。社会変動について理解する。			
第 3 回	3. 行為論①：行為と行動の違い、行為の種類、行為の 4 類型について理解する。			
第 4 回				
第 5 回	4. 行為論②：準拠集団、社会規範について理解する。			
第 6 回	5. 行為論③：社会化、個人主義、パーソナリティについて理解する。			
第 7 回	6. 相互作用論：地位と役割、役割の分類、役割葛藤、役割演技、ダブルコンティンジェンシーについて理解する。			
第 8 回	7. 集団論①：集団とは何かを学び、その上で個人と集団との関係、社会と集団との関係を理解する。			
第 9 回	8. 集団論②：内集団と外集団、集団の諸類型について学ぶ。			
第 10 回	9. 集団論③：最も大規模な機能集団である官僚制組織の特徴やその組織の構成員に与える影響について理解する。			
第 11 回	10. 家族と社会①：社会の基礎集団である家族の類型と機能について理解する。			
第 12 回	11. 家族と社会②：少子化の原因を社会学の視点から考える。			
第 13 回	12. 家族と社会③：多様化する家族、個人単位の社会への変容について考える。			
第 14 回	13. 社会問題①：コミュニティ、男女共同参画をめぐる議論を取り上げ、それについて社会学の視点から考える。			
第 15 回	14. 社会問題②：現代社会の諸問題を取り上げ、それについて社会学の観点から分析し、発表する。			
	15. 認定試験・まとめ			
自己学習 および 関連科目	自己学習：日頃より、自分も社会の一員であることを自覚し、家庭・学校・地域社会などに関心を持つ。 関連科目：看護学概論Ⅰ、健康論Ⅰ、地域・在宅看護論、生活科学、人間関係論Ⅰ 地域・在宅対象論・成人看護学概論、老年看護学要論、小児看護学概論、母性看護学概論			
テキスト	配布資料			
評価方法	筆記試験：80%、提出：10%、発表：10%			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画（Syllabus）

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
基礎	生活科学	1	15	1 年次 ・ 1 学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	当校では、看護の対象である人間を生活者として捉える。そこで、生活について理解するために、暮らし・生活に関わる「衣・食・住」についての基礎的知識を得る。また、生活上の問題となる部分についても視野を広げ、そのことによって、対象が健康的な生活を営むためにおこなう支援にむけての基盤をつくる。			
授業目標	1. 暮らしの中の衣・食・住および管理等を科学的な視点で捉える。 2. 合理的で健康に過ごす生活とは何か、生活者としての人間社会について理解する。			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1 回	1. 生活の管理			
第 2 回	1) 生活とは（家庭の機能、家庭生活の構造など） 2) 生活資源・生活時間の管理 3) 家事労働の特徴と能率化・社会化			
第 3 回	2. 生活と経済 1) 家庭経済（家計）の構造 2) 消費者問題・カード社会の問題			
第 4 回	3. 衣と生活 1) 被服の役割と機能 2) 被服の素材 3) 被服の選択と管理			
第 5 回	4. 食と生活 1) 食生活と栄養 2) 食生活と食品 3) 食と環境・安全性			
第 6 回	5. 住と生活 1) 住居の役割と機能 2) 快適な住環境			
第 7 回	3) 住居の管理と安全			
第 8 回	6. 生活とマナー（演習） 7. 認定試験			
自己学習 関連科目	身近な生活上の課題を確認しながら理解を深め、健康的に暮らすヒントとして自らの生活の中で活用していきましょう。 関連科目：健康論Ⅰ、基礎看護技術Ⅰ・Ⅲ			
テキスト	配布資料			
評価方法	筆記試験及びレポート課題等			
備考	生活と経済に関して、消費生活支援センターの講義をうける			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画（Syllabus）

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
基礎	人間関係論Ⅰ	1	15	1 年次 ・ 1 学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	人間関係のトラブルは何故起こるのか?その多くは自分の受信や発信の方法を少し変えることで回避される。捉え方や考え方、価値観を変えることで人間関係は変化する。相手を変えるのではなく、自分がどう変われば好転するかを考え、変えていく力があれば、トラブルを事前に防ぎ、また対処することができる。 自分本位で自己中心的な面をこの講義の中で『「わたし」人間』と呼んでいる。自分の中の『「わたし」人間』に気づき、『「わたし」人間』を卒業していくことが人としての進化であり、人間関係が円滑にいく秘訣である。 看護職者にコミュニケーション能力は必要不可欠である。チームワークやグループワーク、組織活動を良い方向に導ける人材になろう。			
授業目標	1. 自分が人間として成長することが良好な人間関係を築く最も有効的な方法であることを理解する。 2. 自分を変える方法を学び、その力を養う。 3. 一人で生きているのではなく、つながり合う命の中で生かされている温かさを知る。			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1 回	1. 人間関係の必要性と重要性			
第 2 回	2. 人間関係のトラブルは何故起こる？			
第 3 回	3. 自分の受信と発信の仕方の癖			
第 4 回	4. 受信と発信が変わると関係（世界）が変わる			
第 5 回	5. 自分の心が現実を作る			
第 6 回	6. 自分の心を変えると関係（世界）が変わる			
第 7 回	7. 自分と違う他者を理解して共に生きる			
第 8 回	8. 全てが補いあい、助け合い、つながり合って生きている			
自己学習 関連科目	学内だけでなく、様々な場面でのコミュニケーションを通し、誠実に自己および他者と向きあう姿勢で臨む。 関連科目：心理学、ホスピタリティ論、体育Ⅰ、基礎看護技術Ⅰ			
テキスト	独自作成資料			
評価方法	レポート課題			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
基礎	人間関係論Ⅱ	1	30	2 年次 ・ 1 学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	人と人が様々なかたちで関わる看護や保健指導における基礎的・基本的なコミュニケーションについて、価値観、偏見・差別をテーマとする講義と映画鑑賞により考察する。			
授業目標	1. 価値観を学び、自身の価値観を捉える。 2. 価値観を学び、他者との良好な関係の在り方を探る。			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1 回	1. オリエンテーション、患者・看護者の関係理論			
第 2 回	2. コミュニケーションをテーマとする映画鑑賞により人間関係を考える。			
第 3 回	3. 価値観について (1)			
第 4 回	4. QOL をテーマとする映画鑑賞により人間関係を考える。			
第 5 回	5. 価値観について (2)			
第 6 回	6. 病に対する偏見をテーマとする映画鑑賞により人間関係を考える。			
第 7 回	7. 価値観について (3)			
第 8 回	8. 偏見・差別をテーマとする映画鑑賞により人間関係を考える。			
第 9 回	9. 価値観について (4)			
第 10 回	10. 偏見をテーマにする映画鑑賞により人間関係を考える。			
第 11 回	11. 終末期の成人を支える人間関係について			
第 12 回	12. 終末期をテーマにする映画鑑賞により人間関係を考える。			
第 13 回	13. 終末期の幼児・児童を支える人間関係について			
第 14 回	14. 終末期をテーマにする映画鑑賞により人間関係を考える			
第 15 回	15. 認定試験			
自己学習 関連科目	臨地実習の体験を想起しながら、日頃の看護に向かう姿勢を振り返る。 関連科目：老年看護学実習Ⅰ			
テキスト	なし			
参考図書	授業において、適時紹介します。			
評価方法	筆記試験（50％）、授業への取り組み状況（50％）			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
基礎分野	ホスピタリティ論	1	15	1 年次 ・ 1 学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	一般的には「おもてなし」と訳されるホスピタリティだが、「心」だけでなく、人と人、人とモノ、人と社会などの関係構築という視点からホスピタリティを捉えなおす。この授業では、ホスピタリティの本質に対する理解を深め、サービスとの違いを把握するところから、現場において求められるホスピタリティとサービスを理解し、具体的に行動できるマインドと実行力を養う。			
授業目標	1. ホスピタリティの基本的性質について理解する 2. 社会におけるホスピタリティの必要性について理解を深める 3. 自分の経験に照らして「ホスピタリティ」を考えられるようになる。			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1 回	1. オリエンテーション、 ホスピタリティの現実と起源、歴史を理解する			
第 2 回	2. 日本のホスピタリティの課題			
第 3 回	3. サービス概念と特性の把握			
第 4 回	4. ホスピタリティとサービスの違いについて理解する			
第 5 回	5. サービス／ホスピタリティと関係性			
第 6 回	6. 信頼概念とホスピタリティ			
第 7 回	7. 人間の強みとしてのホスピタリティ			
第 8 回	認定試験・まとめ			
自己学習 関連科目	自己学習：授業で学んだ内容をもとに自己の省察を行い、授業毎に提出するリアクションペーパーに反映できるよう振り返り学習を進める。 関連：看護学概論Ⅰ、人間関係論Ⅰ、基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ			
テキスト	なし			
参考図書	徳江順一郎「ホスピタリティ・マネジメント」第3版（同文館出版株式会社） 授業の際に適宜紹介する。			
評価方法	評価方法・評価配点 授業毎のリアクションペーパー（5点×7回）、期末レポート（65点）			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画（Syllabus）

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
基礎	国際学概論	1	30	2 年次 ・ 1 学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	国際化がすすみ、看護の活動の場はグローバル化し、多種多様化している。そのため、世界情勢を理解し、グローバルな視野を持つことが望まれる。そこでここでは、国際的視野を養い、世界の情勢について学ぶ。			
授業目標	1. 国際的視野で、人間と人間の生活および交流について理解する。 2. 国際連合の保健衛生・人権問題への取り組みについて理解を深める。 3. 世界の情勢に興味を持ち、国際協力の在り方を考えることができる。			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1～4 回	1. 1) ガイダンス / 東アジアとは？ / グローバル・ヒストリーについて 2. 2) 東アジア史におけるアヘン 3) アヘンと華人排斥運動 4) 近代日本とアヘン問題 5) 講義のまとめ・試験			1～5 回
第 5 回	3. 日本と国際社会			6～15 回
第 6 回	4. グローバルヘルス			
第 7 回	5. 国際協力のしくみ			
第 8 回				
第 9 回	6. 開発協力における保健医療			
第 10 回				
第 11 回	7. 青年海外協力隊の活動の実際			
第 12 回				
第 13 回	8. 異文化交流のためのワークショップ			
第 14 回				
第 15 回	国際交流・国際協力まとめ・認定試験			
自己学習 関連科目	第 1～5 講： 諸外国の歴史的背景から、適宜受講生に質問を投げかけることにより、テーマに関する理解度や意見・考察を確認する。指名された受講生は自分の理解度や意見・考えについて責任を持って回答する準備を行う。 第 6～15 講： 発展途上国の現場で協力隊活動を行った講師の体験談等により、文化・社会的差異、現状や貧困について理解を深め、国際協力（ボランティア活動）の在り方について考える。			
テキスト	系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践 3 「災害看護学・国際看護学」医学書院 資料配付			
評価方法	筆記試験（1～5 回：30%、6～14 回：70%）			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
基礎	臨床英会話	1	30	1 年次 ・ 1 学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	近年、外国人が医療機関を利用する機会が増えている。言葉が不自由な異国の地で病気にかかることは精神的に負担が大きいうえに、治療の理解に支障をきたすため、対応する必要がある。そこで、Listening と speaking 中心で学習をすすめ、日常英会話の実力を高める。基本的な挨拶、質問、説明、指示などを英語で行うために①必要な語彙や表現の学習②英語発声の聞き取り練習③会話練習を行い、臨床現場で使用する日常英会話を学ぶ。			
授業目標	1. 英語に親しみ、日常英会話の能力を高める。 2. 臨床現場で用いる挨拶、質問、説明、指示などの基本的会話を習得する。			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1 回～ 第 14 回	1. 【リスニング／スピーキング】 日常英会話の実力を高める。 Listening と speaking 中心で行います。 2. 【リスニング／スピーキング】 基本的な挨拶、質問、説明、指示などを英語で行う ①必要な語彙や表現の学習 ②英語発声の聞き取り練習 ③会話練習			
第 15 回	認定試験			
自己学習 関連科目	一般的な英会話は、日常的に耳慣れ、使い慣れる必要があります。 復習しながら、身につけていきましょう。			
テキスト	Everyday English For Nursing on DVD（DVD で学ぶ看護英語） 成美堂			
評価方法	筆記試験、授業参加度			
備考	専門的な言葉や表現などを使える前に、まずは一般的な英会話を学びましょう。			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画（Syllabus）

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
基礎	医学看護英語	1	30	2 年次 ・ 2 学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	近年、外国人が医療機関を利用する機会が増えている。言葉が不自由な異国の地で病気にかかることは精神的に負担が大きいうえに、治療の理解に支障をきたすため、対応する必要がある。また、カルテ記載に英語が用いられることがあり、医療で用いる特殊な英語の理解の必要がある。また一方、医療・看護に関する最先端の論文の多くが英文で発表される現状にある。そこで、英語に慣れ親しみ、医療の現場で用いる医学英語の基礎的知識を習得する。			
授業目標	1. 外国人患者に適切に対応するための基礎的な英語力を身につける。 2. カルテに書かれている英語の語彙を理解し、それに慣れる。 3. 医療・看護に関する英語論文を読み、内容を正確に把握できる力をつける。			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1 回	1. 授業の進め方について Unit 1. Basic for Health Care Professionals			
第 2 回	2. Unit 2. The Digestive System:How It Works			
第 3 回	3. Unit 3. The Cardiovascular System:The Heart,Pump for Life-giving Blood			
第 4 回	4. Unit4. The Neurological System:Neuroscience			
第 5 回	5. Unit5. The Urinariy System:Kidney Transplantation			
第 6 回	6. Unit6. The Reproductive System:Infertility Treatments			
第 7 回	7. Unit7. The Skeletal System:Bone Health			
第 8 回	8. Unit8. The Immune System:Allergies			
第 9 回	9. Unit9. The Endocrine System:Diabetes			
第 10 回	10. Unit10. Preventing the Spread of Infectious Disease			
第 11 回	11. Unit11.Cancer Detection			
第 12 回	12. Unit12. Robotic Surgery			
第 13 回	13. Unit13.From Genetic Research to Personalized Medicines			
第 14 回	14. Unit14. Health Care for the Aging : Geriatric Nursing			
第 15 回	15. 認定試験			
自己学習 関連科目	看護師国家試験においても、病名などが英語併記されていることから、英語の語彙に慣れることは重要である。復習を積極的に行う。			
テキスト	Understanding Health Care『 医療の世界－基本情報と表現演習 』			
参考図書	「これだけは知っておきたい医学英語の基本用語と表現」藤枝広壽・玉巻欣子・Landolph Mann (メジカルビュー社) 「カナ発音付きプライマリー臨床英語辞典」小林充尚 (文光堂) 「アメリカ看護留学への道」佐藤隆美・小林乃理子・編 (南光堂)			
評価方法	筆記試験 100%			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画（Syllabus）

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
基礎	体育Ⅰ	1	15	1 年次 ・ 1 学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	高等学校までの体育授業で身につけた知識・技能を生かし、球技を中心とした運動を行うなかで、自己理解・他者理解を深めるとともに、看護実践に必要な人間関係を豊かに築いていくためのコミュニケーション能力を養う。			
授業目標	1. それぞれの運動が有する特性や魅力に応じて、その楽しさや喜びを体感するとともに、公正、協力、安全等の態度を育てる。 2. 運動を通じて心身の調和的発達を図り、明るく豊かで活力ある学生生活を営む態度を育てる。			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1 回	1. ガイダンス 体づくり運動			
第 2 回 ～3 回	2. バレーボール			
第 4 回 ～5 回	3. バスケットボール			
第 6 回 ～7 回	4. バドミントン・卓球			
第 8 回	5. 軽スポーツ 授業の振り返り			
自己学習 関連科目	スポーツを「する」「観る」「支える」ことに興味関心を持ち、少しでも実行してくれることを願います。			
テキスト	なし			
参考図書	なし			
評価方法	毎時間の積極性、協調性、貢献度、技能等・授業日誌・出席状況			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画（Syllabus）

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
基礎	体育Ⅱ	1	15	1 年次 ・ 2 学期
担当講師	非常勤講師			
授業概要	「レクリエーション」とは、疲れた心身を娯楽・休養を通じて回復させることであり、人間が生きがいのある生活を送るために重要な意味を持つ。看護では、患者と円滑なコミュニケーションをとるための手段の一つとなり、また健康的な刺激を与えることによって、気分転換を図り、回復を促進させることにつながる。そのことから、精神科領域や障がい者、高齢者ケアの現場では「レクリエーション療法」が取り入れられるケースもある。 本授業では、専門的知識習得の準備として「レクリエーション」の基礎的理解を深める。			
授業目標	1. 「レクリエーション」の意義と目的を理解する。 2. 「レクリエーション」の体験を通し、レクリエーションの基礎的理解を深める。			
回数	授 業 内 容			担当者
第 1 回	1. レクリエーションの基礎的理解 1) レクリエーションとは 2) レクリエーション支援の構成とプロセス 3) レクリエーションサービスとは			
第 2 回	2. レクリエーション援助者の役割			
第 3 回	3. レクリエーション援助者の実践的技術 1) レクリエーションの活用場面 2) 様々なレクリエーション (1) ホスピタリティ・トレーニング (2) アイスブレイキング (3) 個人・グループで行うレクリエーション (4) その他			
第 4 回	4. レクリエーション支援の実践			
～7 回				
第 8 回	5. 認定試験			
自己学習・ 関連科目	レクリエーションは、学内だけでなく地域の中で実施する機会も多くある。文献を見るだけでなく、学外活動やボランティア等にも積極的に参加しながら、レクリエーション・ゲームにかかる教材を収集する。			
テキスト	講師による配布資料			
評価方法	筆記試験、授業参加への意欲・態度			